

家計改善の手引き

(本 編)

いわて生活者サポートセンター

平成22年3月

目 次

第1章	調査の目的と調査の流れ	1
1	はじめに	1
2	調査の目的	1
3	調査の流れ	2
第2章	アンケート提出者の実像	4
1	家族構成	4
2	アンケート記入者	4
3	本人の年齢	4
4	第1子の就学状況	5
5	職業	5
6	健康状態	6
7	本人の最終学歴	6
8	配偶者の最終学歴	6
9	現在の住居の状況	7
10	現在の自動車の保有状況	7
11	家族の収入の把握状況	8
12	家族の支出の把握状況	9
13	夫婦の家計管理のタイプ	9
14	水道光熱費の支払い等	11
15	税金の支払い	11
16	家賃の支払い	12
17	家計簿の基調状況	12
18	クレジットカードの保有状況	13
19	クレジットカードで買い物することへの抵抗感	13
20	どのようなものをクレジットカードで購入しているか	14
21	相談時と比較しての家計の改善状況	14
22	家計の状況が良くなった理由	15
23	家計の悪くなった理由	15
24	相談時と比較しての貯蓄の増減	15
25	貯蓄を増やすためにしたこと	16
26	貯蓄が増えなかった理由	17
27	相談時と比べた変化	17
28	相談時と比べて支出が増えた項目	17
29	今後の生活で不安に感じていること	17
30	暮らし向きについて総合的にどのように見ているか	18
31	収入状況	18
32	世帯人数調整済み一人当たり世帯所得	18

33	自由回答	19
第3章	クロス分析	22
1	クロス分析とは	22
2	家計の改善状況と年代の対比	22
3	家計の改善状況と学歴の対比	23
4	家計の改善状況と第1子の通学している学校との対比	23
5	家計の改善状況と自動車保有台数との対比	24
6	家計の改善状況と家族全員の収入の把握状況との対比	25
7	家計の改善状況と家族全員の支出の把握状況との対比	26
8	家計の改善状況と家計管理タイプとの対比	26
9	家計の改善状況と家計簿の記帳状況との対比	27
10	家計の改善状況とクレジットカードの保有状況との対比	28
11	家計の改善状況と家計の一元管理との対比	30
第4章	対象世帯でとられている節約術	31
1	調査対象世帯のとっていた節約術ベスト10	31
2	改善家庭の取っていた節約術ベスト10	31
3	その他の節約中	31
第5章	家計改善の提要	60
1	大きな目標へ	60
2	教育費	60
3	貯蓄の方法	61
4	節約の知恵	61

第1章 調査の目的と調査の流れ

1 はじめに

特定非営利活動法人いわて生活者サポートセンター（以下「サポートセンター」という）は、平成21年度において厚生労働省から社会福祉推進事業補助金を受け、生活不安定世帯の家計調査分析事業を行った。

サポートセンターは、広く県民の多重債務問題の相談を受け、多重債務問題の解決を通じ、家計の再建を支援する岩手県消費者信用生活協同組合（以下、「信用生協」という。）が設立母体となって設立された特定非営利活動法人である。

信用生協が主として多重債務問題の経済的側面・法的整理の面を担当するのに対し、サポートセンターは、多重債務の原因となっている問題（例えば、ギャンブル依存症の問題）、多重債務から派生している心の問題の解決支援、信用生協の相談者の世帯を対象とした家計診断等に取り組んできた。

定款において、「すべての方々の、経済状況や社会状況を反映したあらゆる悩みと向き合い、相談を受け、その解決と生活再建に向け支援することを目的とする。また、地域社会の問題と正面から向き合い、人権擁護及び社会全体の利益に寄与することを目的とする」と規定されている。

現在、個人会員53名、法人会員9団体となっている。

事務局体制としては、事務局長以下、4名の職員がいる。これらは、いずれも信用生協との兼務職員である。

2 調査の目的

債務整理をしても家計再建にならない。借金はなくなったのに、生活は依然苦しい。こういった相談者が消費生活相談の場面で増加している。

次頁の債務総括表を見ていただきたい。信用生協に相談にこられた方の実際の総括表である。この2つの総括表が示すように、以前であれば、借金の内容は、消費者金融等々からのものであったが、昨今は、光熱費、家賃、授業料といった通常の生活の中の支払いが滞納状態になってしまっている状況が見て取れる。

これは、ひとつには、1996年にその残高が75兆円となりピークを迎えた消費者金融市場が、その後、残高の減少を示しているように借入を控える家計が増えてきていることが原因となっていると考えられる。

この状況は、平成22年6月に予定されている貸金業法の完全施行の際には、借りることを控えるのみならず、借りられない家計が激増することが予想されている。

相談者の借入状況の変化

(部外秘) 債務総括表
年3月20日現在 (太線の内側をエンピツでご記入ください)

No.	借入先	支店名	残高	月払額	ボーナス	利率	カード	保証人氏名
1	消費者金融A	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
2	消費者金融B	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
3	消費者金融C	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
4	消費者金融D	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
5	消費者金融E	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
6	消費者金融F	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
7	消費者金融G	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
8	消費者金融H	〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
9								
10								
11	住宅金融公庫		〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇	〇.〇〇%	有	〇〇
12								
13								
14								
15								
計			〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇			

(部外秘) 債務総括表
年10月23日現在 (太線の内側をエンピツでご記入ください)

No.	借入先	支店名	残高	月払額	ボーナス	利率	カード	保証人氏名
1	家賃延滞		73200				有	〇〇
2	水道代		49206				有	なし
3	ガス代		19835				有	〇〇
4	電気代		5000				有	〇〇
5	セミ		19535				有	〇〇
6	給食代		10900				有	〇〇
7	集金		13000				有	〇〇
8	高校学費		28000				有	〇〇
9	車検代		125000				有	〇〇
10	消費者金融F 盛岡		480000	13000			有	〇〇
11	消費者金融F 本沢		470000	13000			有	〇〇
12								
13								
14								
15								
計			1,294,276	26000				

現在、貸金業者の利用者は1376万人いるが、そのうちいわゆる総量規制に抵触して借りることができなくなる割合は、50%以上に及ぶという推計がある。

となると、650万人以上の方が、新たに借りることが出来なくなり、家計運営の抜本的な見直しが必要になってくる可能性が出てくる。

これまでは、比較的緩やかに（大雑把に）しかなされていなかった家計のやりくりを見直し、節約に努めることにより余裕ある家計運営に持ち込まなければ、臨時の出費に対応できない事態が出現することが現実の問題として発生するのである。

しかし、家計運営を見直しするといっても、何から手をつけたらいいのか、他の世帯はどのような工夫をしているのか、さらに言えば、家計再建の提言はどこにあるのか、これらの疑問に答えるのが本手引きの目的である。

3 調査の流れ

(1) 対象者

今回の調査は、信用生協の組合員を対象とした。

信用生協は、昭和44年相互扶助の理念を生かして生活資金の貸付を行う生協法人として設立された。

信用生協では、単なる数値的な指標のみならず、家計収支表のバランスから、無理のない返済計画が立てられるか否かで貸付の可否を判断している。また、借り入れの申し込みの際、家計診断を行い、家計改善指導(家計再建プラン)をも行っている。単なる貸付だけでなく、家計改善にも取り組み、金銭管理教育的な側面も有していることからすれば、アメリカのクレジットユニオンに近い存在といえ

るかもしれない。また、国の多重債務改善プログラムにおいては日本版グラミン銀行に相当するような参考例とも紹介されている。

信用生協においては、信用情報上一般の金融機関が使いにくい方に対しても、生活再建のため必要であれば、貸付を行う場合がある。これに関しては、平成20年4月に施行された生活協同組合法において、生協の貸付事業においては、「多重債務者等」への貸付が明確に規定されたことから法的にも裏付けられた制度となった。

このように、信用生協の貸付は、マイクロファイナンスの一翼を担いながらも、既存の金融機関の貸付の枠組みにとどまらず、家計の再建を目指した国内ではあまり類例が見られない仕組みとなっている。

さらに、今後は、もっと大きな視点から地域の「志金流通」を行うソーシャルファイナンスを担う取り組みを進めたいと考えている。

このような信用生協に相談に訪れ組合員となった方（貸し付けを受けた方）を悉皆調査の形で500名という数を設定した。

具体的には、アンケート作成時の1年前（平成20年11月）から遡る形で、500名に達するまで（期間としては1年ほど遡る）対象者をリストアップした。

（2） 調査の実施

対象者に対し、アンケート（巻末資料1）及び節約マニュアル（巻末資料2）を送付した。

その際、アンケート記入とともに依頼した事項は以下の通り。

○記入はできるだけ、家計を担当している方が行うこと。

○家計収支表については、平成21年11月1ヶ月間の家計の状況を反映した内容で記入すること。

（3） 回収率等

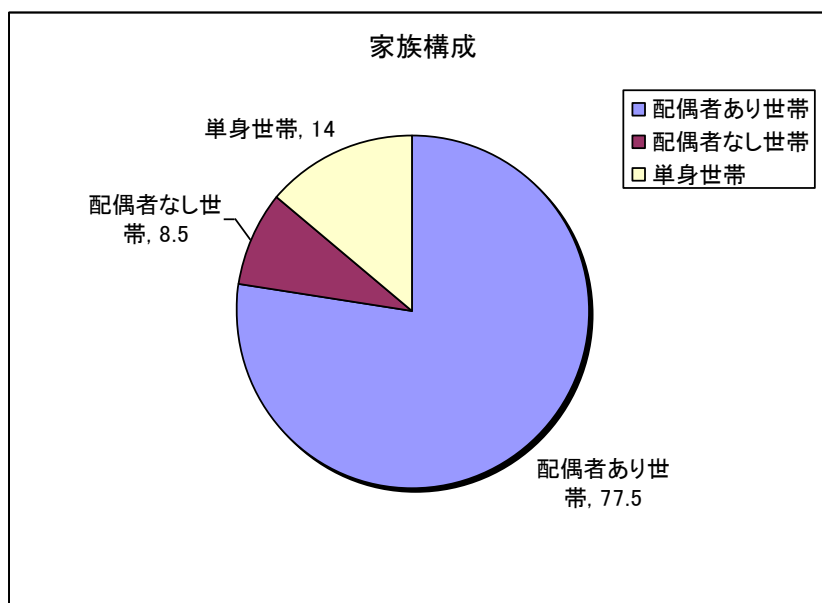
12月にアンケートを500通送付して、71通の回収があった。

送付した500通のうち、転居先不明で戻ってきたものが5通あったので、495通を分母として、回収率を計算すると14.32%となった。

第2章 アンケート提出者の実像

1 家族構成

アンケートの提出者71世帯のうち、配偶者のある世帯55、(77.5%)、配偶者なしの世帯が16(22.5%)であった。配偶者なしの世帯のうち、単身世帯は10世帯であった。



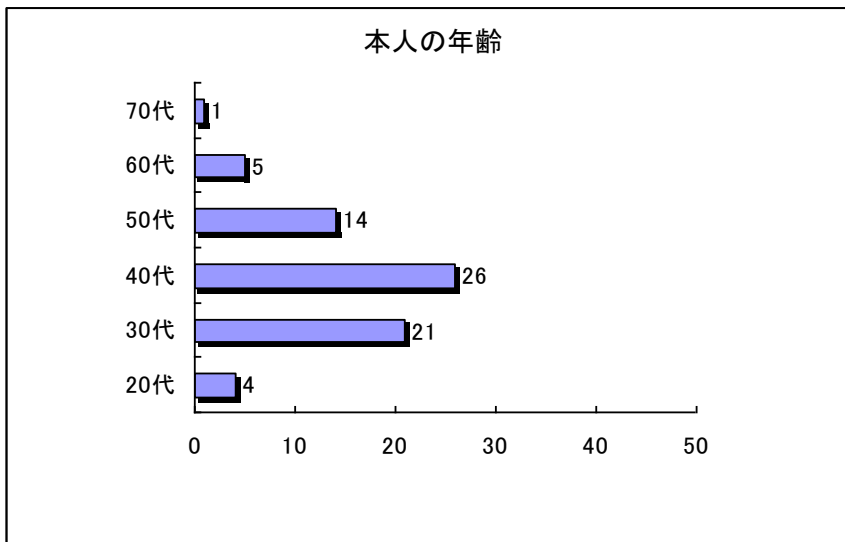
2 アンケート記入者

記入者は、配偶者ありの家庭では、夫が35件(49.3%)、妻が20件(28.2%)、配偶者なしは16(22.5%)であった。

3 本人の年齢

本人の年齢に関しては、回答者は30代、40代で65%以上を占める状況であった。

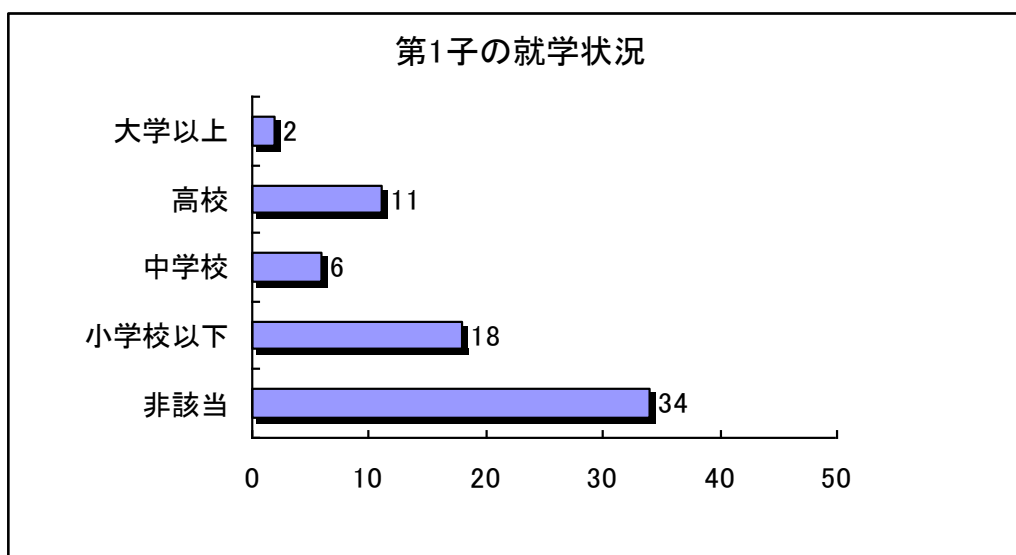
	実数	割合 (%)
20代	4	5.6
30代	21	29.6
40代	26	36.6
50代	14	19.7
60代	5	7.0
70代以上	1	1.4
合計	71	100



4 第1子の就学状況

子供のいる世帯のうち、第1子の就学状況は、小学校以下が半数近くを占めていたが、高校に通っている子供のいる家庭も3割ほどあった。

	実数	割合 (%)
小学校以下	18	48.7
中学校	6	16.2
高校	11	29.7
大学以上	2	5.4
(非該当等)	(34)	
合計	37	100

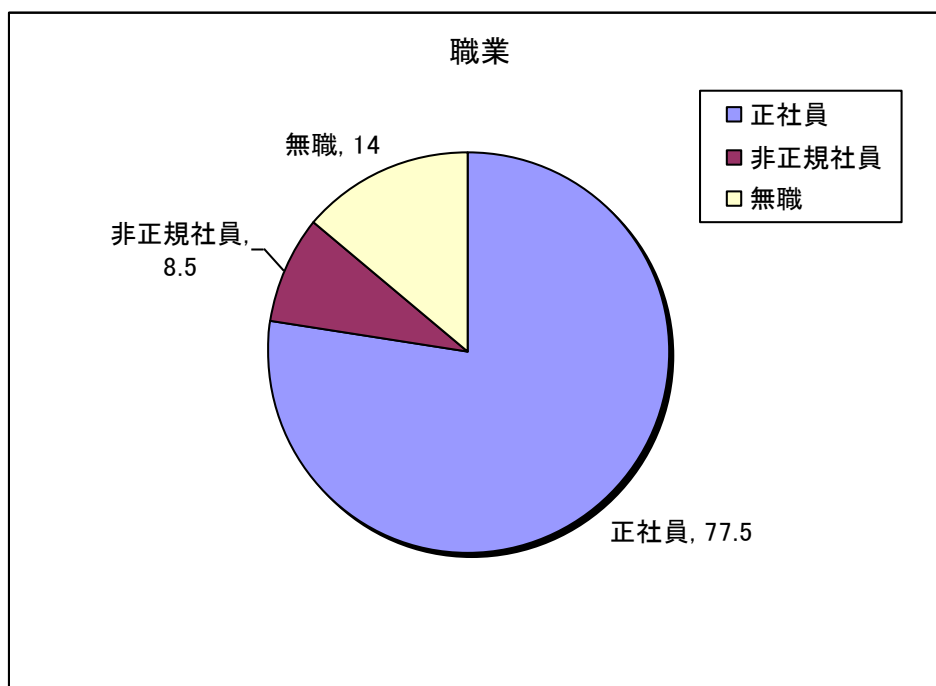


5 職業

記入者本人の職業については、正社員45 (63.4%)、非正規社員14 (19.7%)、無職3 (4.2%) などであった。

岩手県統計調査課のまとめによると、県内の正規社員の割合は、66.4%、パートの割合は

16.3%、アルバイト5.8%、契約社員4.5%などとなっており、正社員の割合は、全県的な傾向とほぼ合致する。



6 健康状態

記入者本人の健康状態については、健康65（91.5%）、病気・病弱4（5.6%）、障害1（1.4%）などであった。

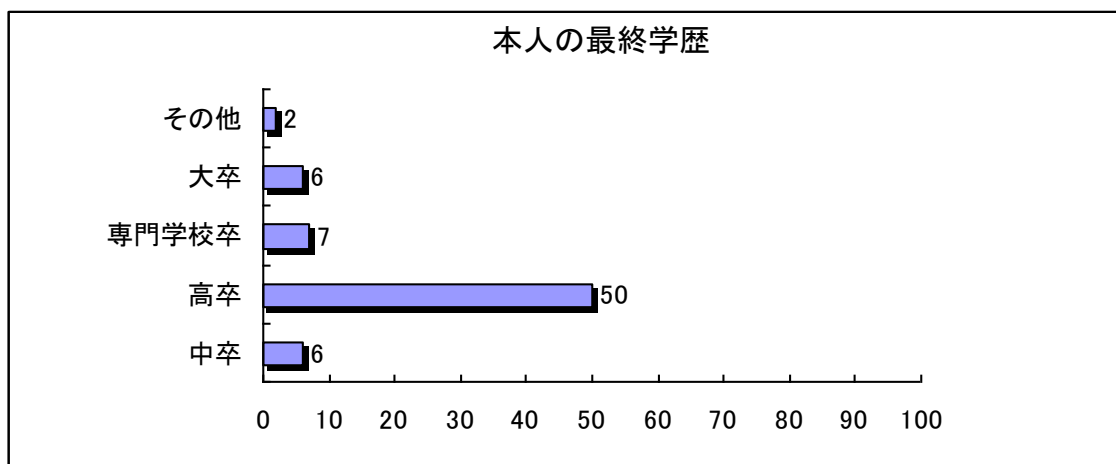
7 本人の最終学歴

本人の最終学歴は、高卒が7割、それ以外が1割以下という状況になっている。

岩手県の全県的な数字では45.4%（総務省統計局、「社会・人口統計体系」2008年）からすると高卒の割合が高く、大卒の割合（8.1%、同）は、ほぼ全県の傾向と合致していることが分かる。

ちなみに、岩手県は中卒以下の割合が37.4%（総務省統計局、「社会・人口統計体系」2008年）で、全国1位になっている。この数字と対比すると、中卒以下の割合が非常に少ないが、これはアンケート提出者の年齢構成が、高齢者に偏らず、30代、40代が中心となっているためと思われる。

	実数	割合 (%)
中 卒	6	8.5
高 卒	50	70.4
専 門 学 校 卒	7	9.9
大 卒	6	8.5
そ の 他	2	2.8
合 計	71	100



8 配偶者の最終学歴

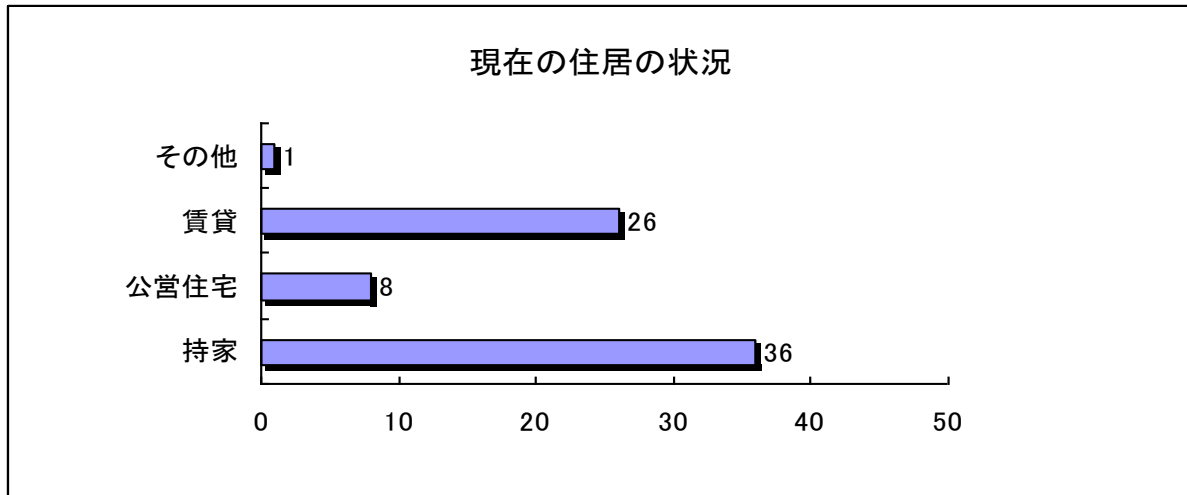
本人と同様、最終学歴は、高卒が7割近く、それ以外が1割前後という状況になっている。16名は、配偶者がなく非該当となる。

	実 数	割合 (%)
中 卒	5	9.1
高 卒	37	67.2
専 門 学 校 卒	8	14.6
大 卒	3	5.5
そ の 他	2	3.6
(非 該 当)	(16)	
合 計	55	100

9 現在の住居の状況

現在の住居の状況については、持家が約5割となっているが、岩手県の全県的な数字(70.6%、総務省統計局「社会生活統計指標」平成15年)からすると、2割ほど下回っていることが分かる。

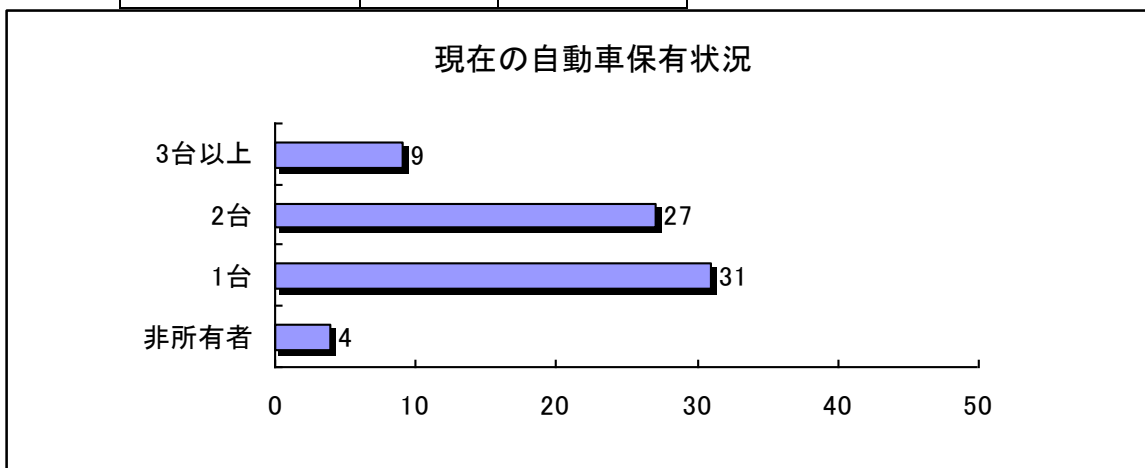
	実 数	割合 (%)
持 家	36	50.7
公 営 住 宅	8	11.3
賃 貸	26	36.6
そ の 他	1	1.4
合 計	71	100



10 現在の自動車保有状況

現在の自動車の保有については、1台の世帯が約4割、2台の世帯が4割を下回る程度、非所有は5%程度しかないと分かる。3台以上所有している世帯の所有台数を仮に3台として、平均所有台数を出すと、1世帯当たり1.57台となる。この数字は、2008年度の全国平均1.086台、岩手県の1世帯当たりの平均所有台数1.361台と比べると高い数字となっている。年間にかかる自動車の維持費が高いことを考えると、平均より高い自動車保有台数というのは、今後の生活を考える上で、見直すべき重要な項目になってくるものと考えられる。

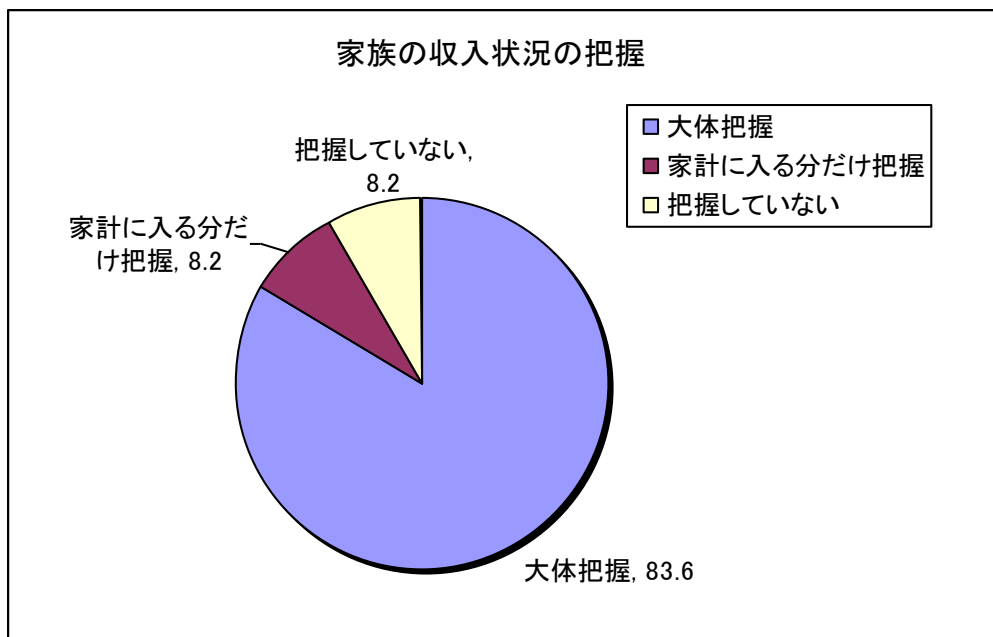
	実数	割合 (%)
1台	31	43.7
2台	27	38.0
3台以上	9	12.7
非所有	4	5.6
合計	71	100



11 家族の収入の把握状況

家族の収入の把握状況に関しては、該当者の8割以上が大体把握しているという結果となり、把握していないという割合は1割未満にとどまった。

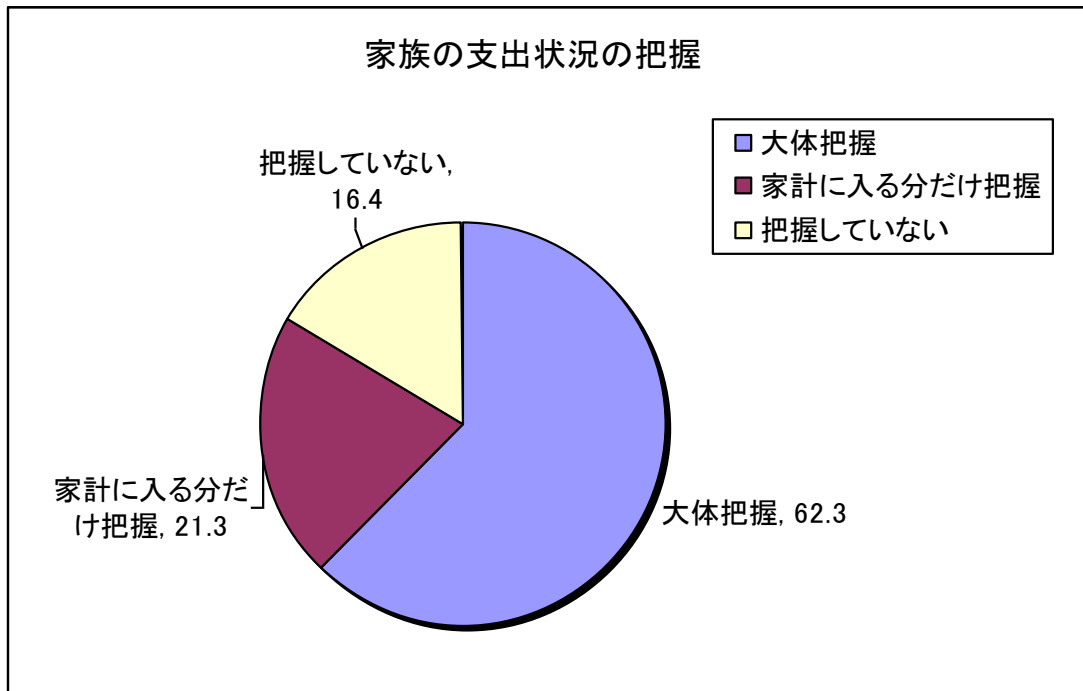
	実 数	割合 (%)
大 体 把 握	5 1	8 3. 6
家計に入る分だけ	5	8. 2
把握していない	5	8. 2
(非 該 当)	(1 0)	
合 計	6 1	1 0 0



1 2 家族の支出の把握状況

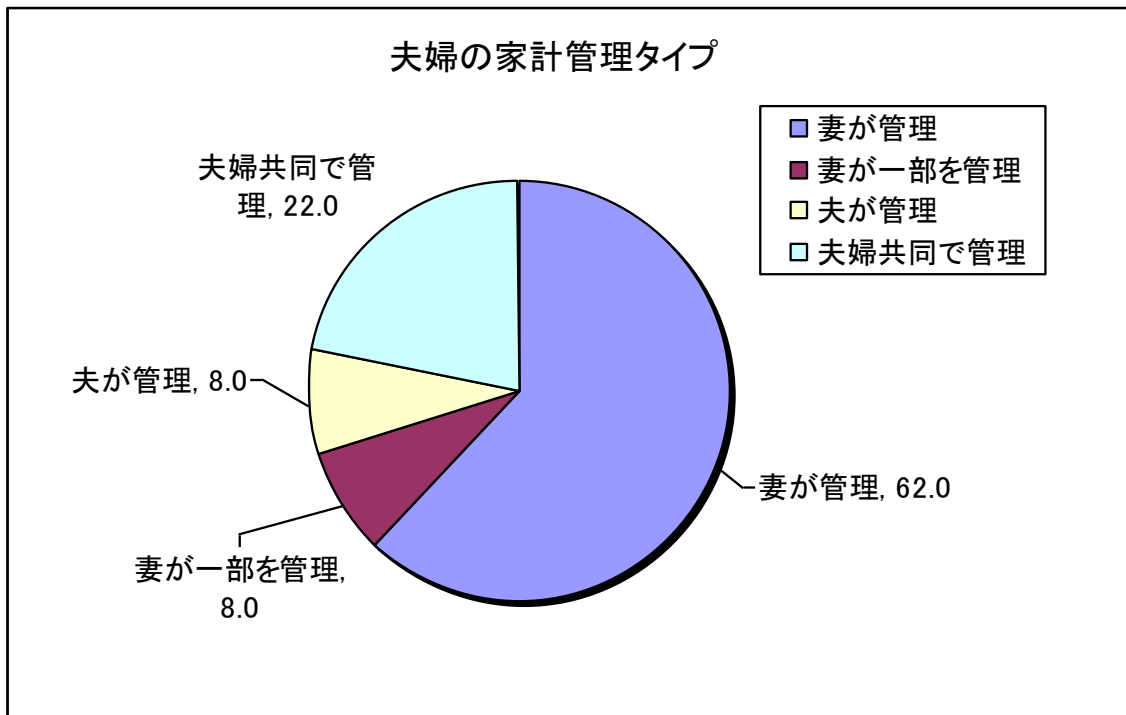
家族の支出の把握状況に関しては、収入と異なり、該当者の6割程度の人が大体把握しているという回答となり、収入の把握状況より、2割も下回る結果となった。また、家族の支出を把握していない割合は、収入を把握していない割合の倍となっている。

	実 数	割合 (%)
大 体 把 握	3 8	6 2. 3
家計に入る分だけ	1 3	2 1. 3
把握していない	1 0	1 6. 4
(非 該 当)	(1 0)	
合 計	6 1	1 0 0

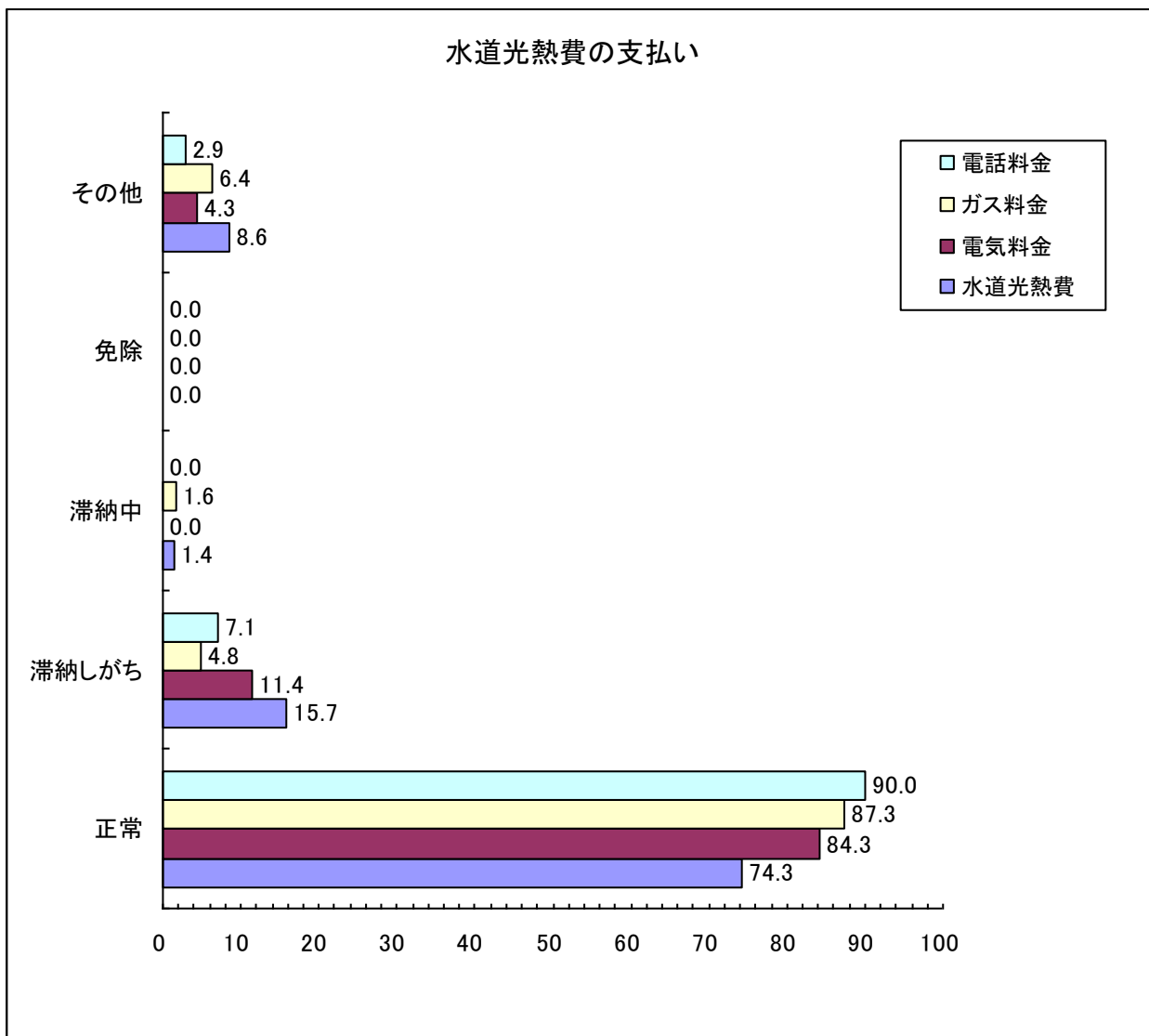


1.3 夫婦の家計管理タイプ

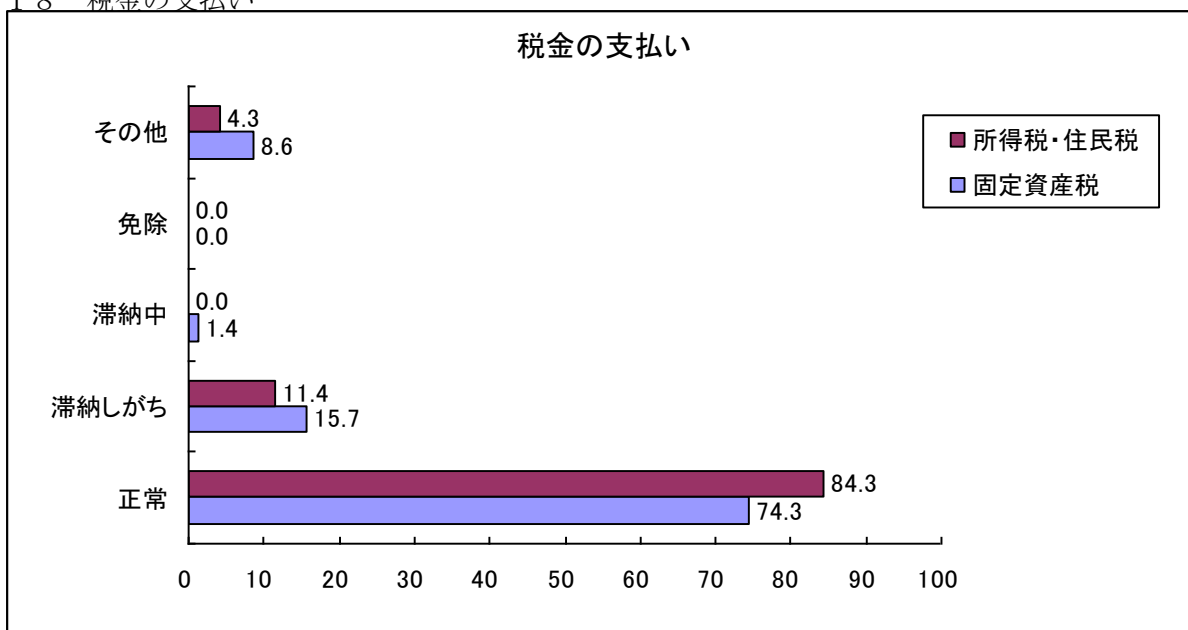
夫婦の家計管理に関しては、いくつかのタイプを提示し、どれに該当するかを回答してもらった。その結果、妻がすべての収入を管理してやりくりしている世帯が31、夫婦がすべての収入を共同で管理している11、夫がすべての収入を管理と夫が妻に収入の一部を渡し、妻がその分だけを家計費として管理しているがそれぞれ4などとなった。



1.4 水道・光熱費の支払い



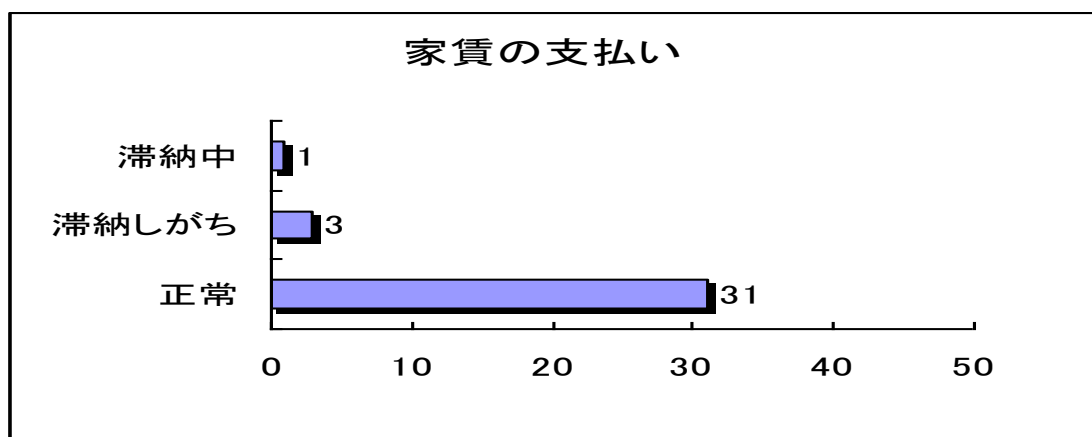
1.8 税金の支払い



1.6 家賃の支払い

住まいの基盤を確保する意味から、他の公共料金と同様正常な支払いの割合がきわめて高くなっている。

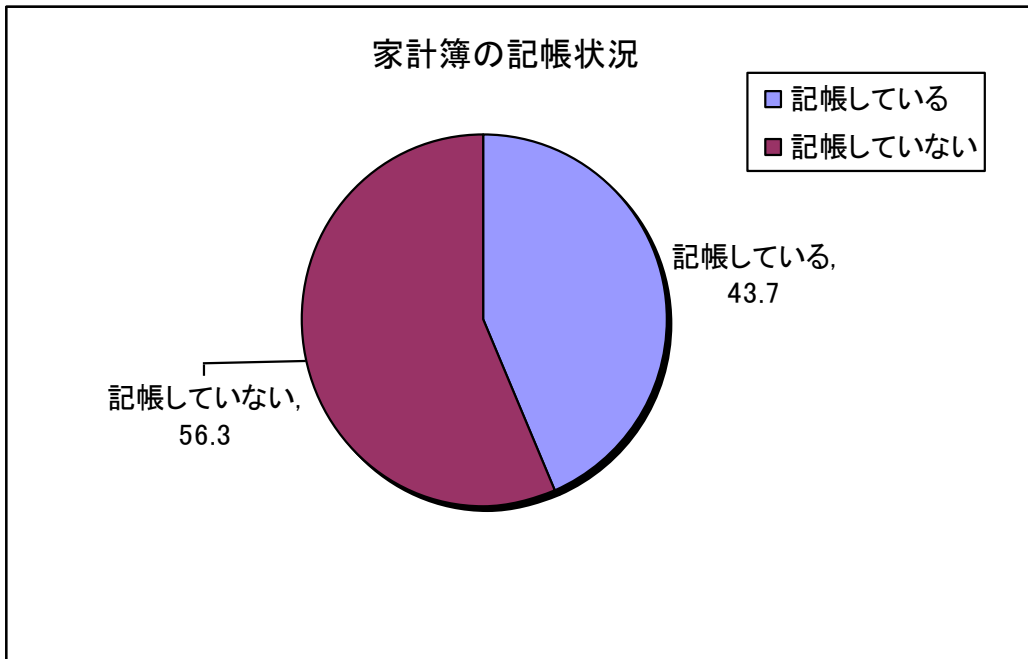
	実数	割合 (%)
正 常	31	88.6
滞 納 し が ち	3	8.6
滞 納 中	1	2.9
非 該 当	(36)	
合 計	35	100



1.7 家計簿の記帳状況

記帳していない世帯が6割近い。しかし、全世帯を対象とした統計では、家計簿の記帳率が22%。すなわち、78%が記帳していないという事実からすれば、今回の調査対象となった世帯は、家計簿の記帳率は非常に高いこととなる。

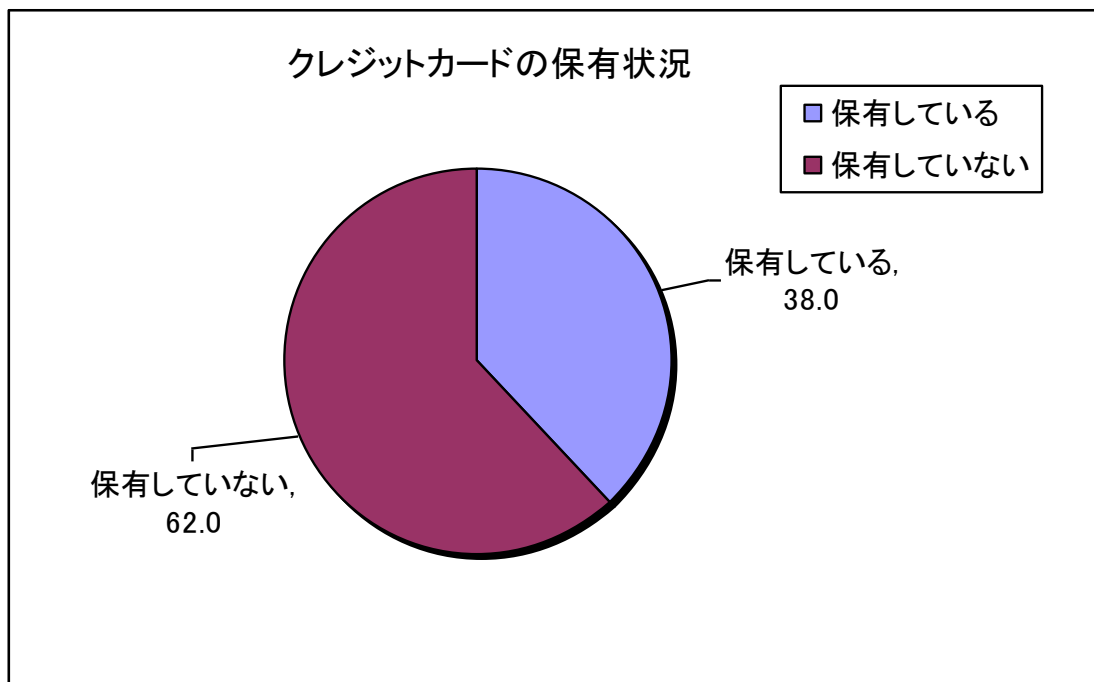
	実数	割合 (%)
記帳している	31	43.7
記帳していない	40	56.3
合 計	71	100



18 クレジットカードの保有状況

信用生協の組合員になった理由が債務整理資金の借りにあった場合、整理と同時にクレジットカードの解約を指導している。この事情を参酌すると、カード保有者が多いように思われる。

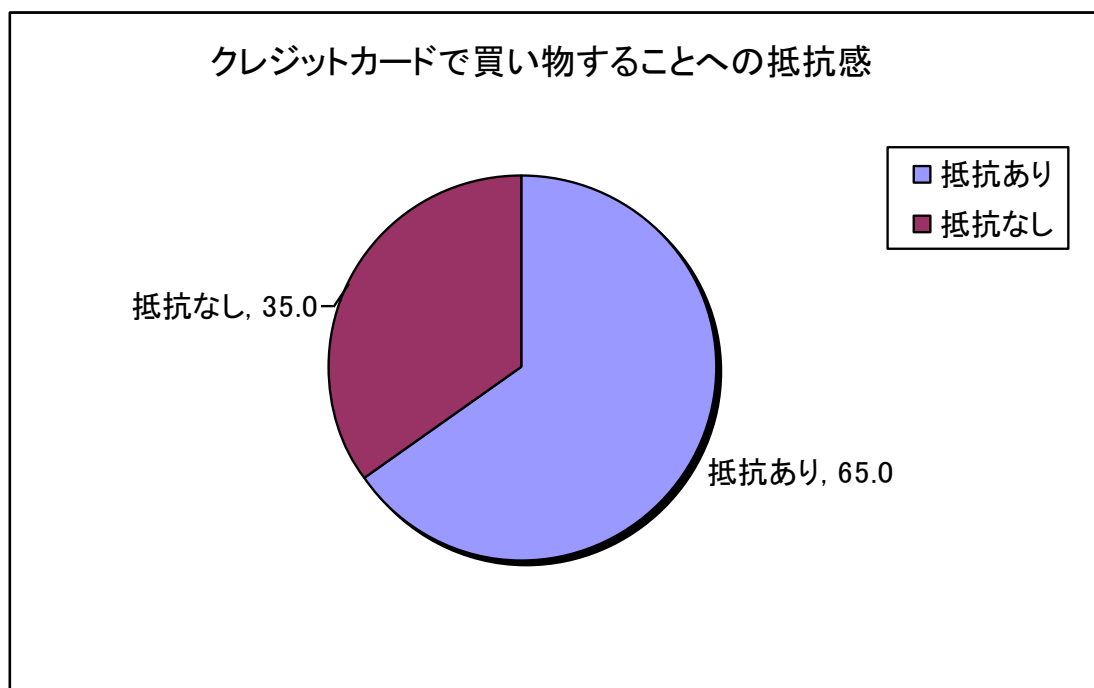
	実数	割合 (%)
保有している	27	38.0
保有していない	44	62.0
合計	71	100



19 クレジットカードで買い物をすることへの抵抗感

クレジットカードに対する抵抗感は5割以上の方に見られる。

	実 数	割合 (%)
抵 抗 あ り	39	65.0
抵 抗 な し	21	35.0
無 回 答	(11)	
合 計	60	100



20 どのようなものをクレジットカードで購入しているか

数万円以上の高額なものをクレジットカードで買う割合が4割以上と最大を占めた。

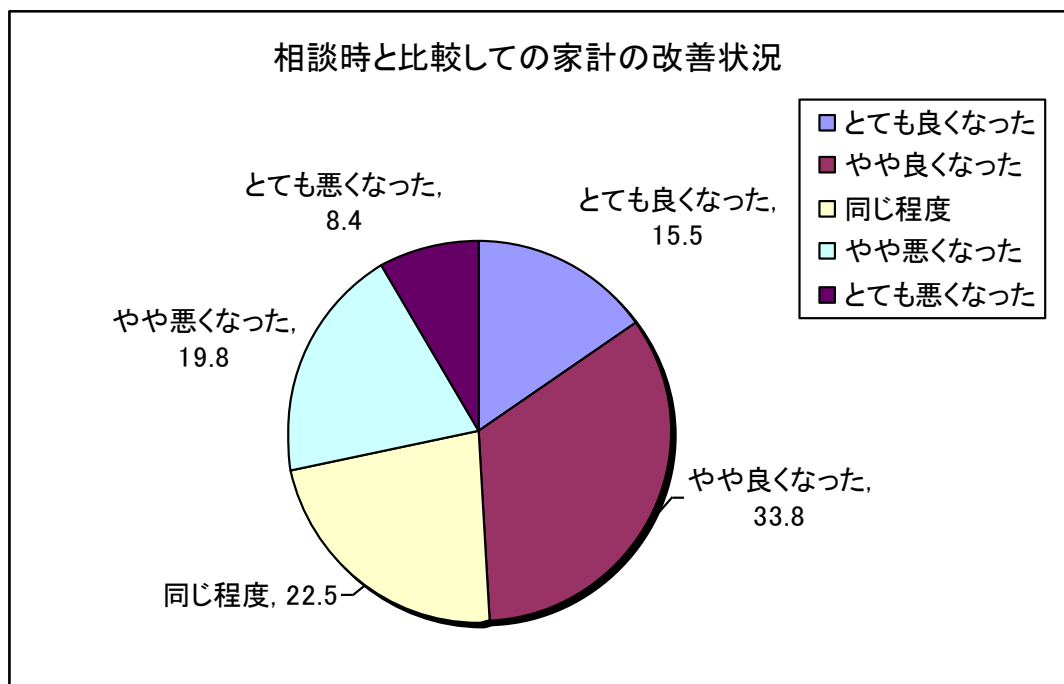
	実 数	割合 (%)
ほとんどもと全て	1	4.0
数万円以上の高額なもの	10	40.0
数千円以上の比較的高額なもの	3	12.0
その他	11	44.0
非該当等	(46)	
合計	25	100

21 相談時と比較しての家計の改善状況

家計の改善については、約半数の家庭でよくなったと回答し、他方3割弱の家庭で悪くなったと回答している。

	実 数	割合 (%)
とても良くなった	11	15.5
やや良くなった	24	33.8
同じ程度	16	22.5
やや悪くなった	14	19.7

とても悪くなった	6	8.5
合計	71	100



2.2 家計の状況が良くなった理由

これに関しては、複数回答で、収入が増えたとした方の主な理由は、給料が増えた（5）、働く人が増えた（4）、年金・手当が増えた（3）などの回答があった。

また、支出が減ったとした方の中の主な理由は、借金が減った（28）、世帯員が減った（5）、医療費・食費が減った（それぞれ4）という回答があった。

2.3 家計が悪くなった理由

これに関しては、複数回答で、収入が減ったとした方の主な理由は、給料が減った（15）、年金・手当が減った（2）などの回答があった。

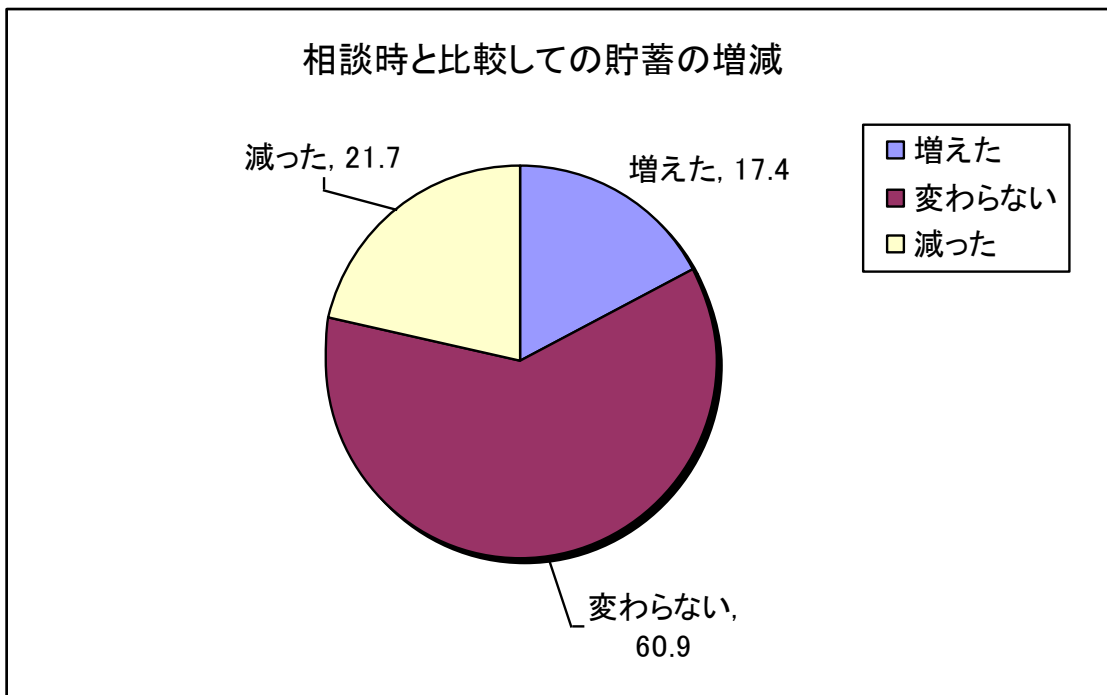
また、支出が増えたとした方の中の主な理由は、食費が増えた（5）、教育費が増えた（4）、借金が増えた（3）という回答があった。

2.4 相談時と比較しての貯蓄の増減

貯蓄が増えたことが家計改善につながっているとは必ずしもいえないかもしれないが、家計がとても良くなったとしている世帯とほぼ同様の割合になっている。

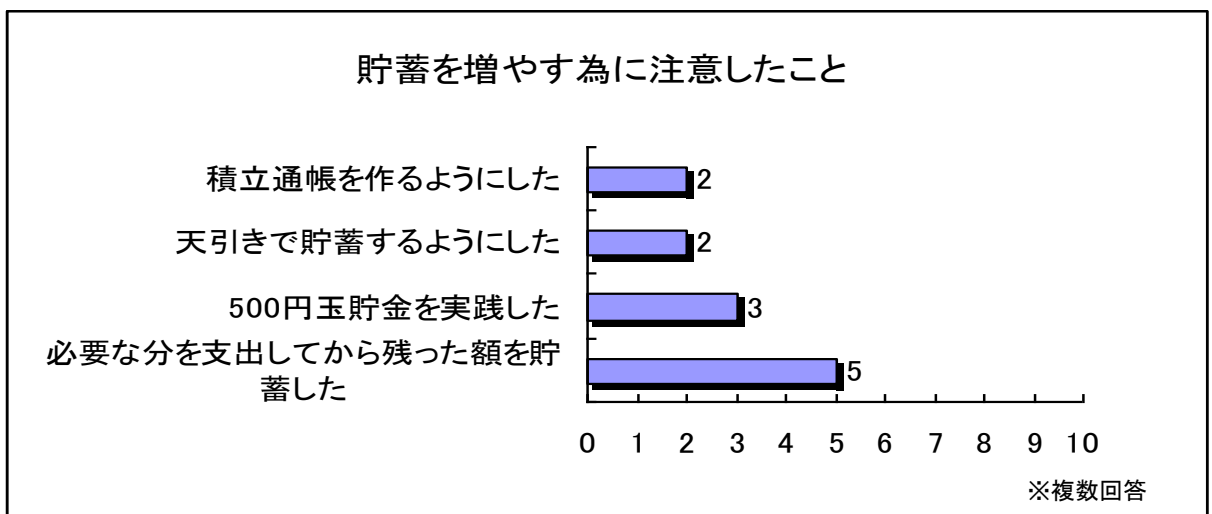
	実数	割合 (%)
増えた	12	17.4
変わらない	42	60.9

減った	15	21.7
無回答	(2)	
合計	69	100



2.5 貯蓄を増やすために注意したこと

複数回答で、必要な分を支出してから残った額を貯蓄するようにした（5）、500円玉貯金を実践した（3）、天引きで貯蓄するようにした、積立通帳を作るようにした（それぞれ2）となっている。

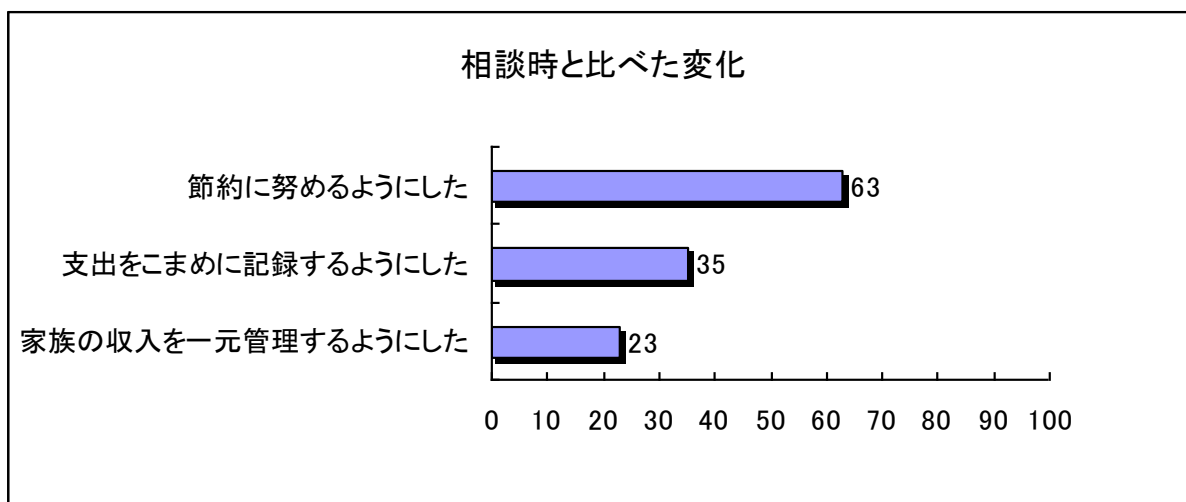


2.6 貯蓄が増えなかった理由

これも複数回答であるが、支出が増加したから（10）、収入が減少したから（8）、などとなっている。

2.7 相談時と比べた変化

家族の収入を一元管理するようになったという家庭が23（40.4%）、支出をこまめに記録するようになった家庭が35（60.3%）、節約に努めるようになった家庭が63（92.6%）となっている。



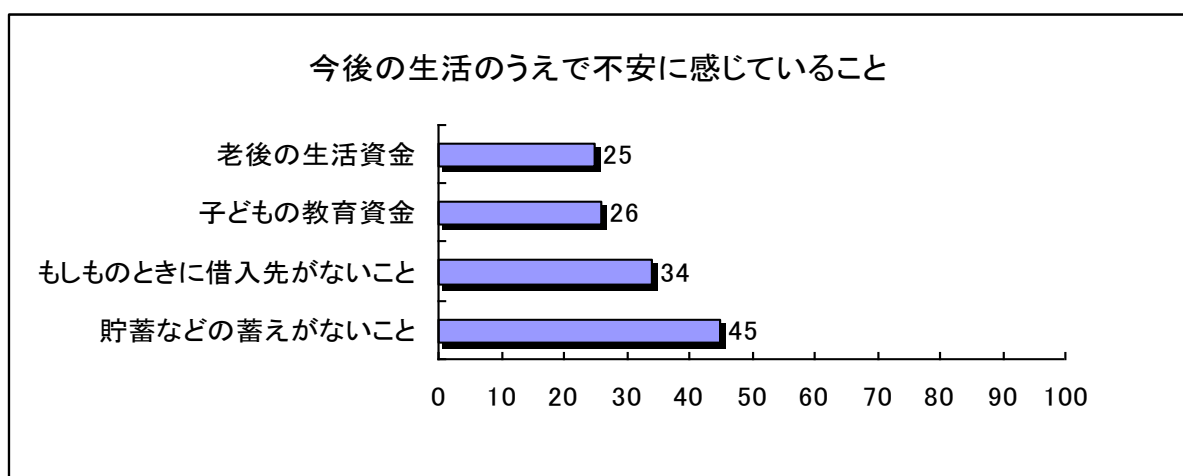
2.8 相談時と比べて支出が増えた項目

※複数回答

複数回答であるが、医療費（14）、教育費（12）、食費・光熱費（それぞれ8）、交通費（7）などとなっている。

2.9 今後の生活のうえで不安に感じていること

複数回答で、貯蓄などのたくわえがないこと（45）、もしものときに借入先がないこと（34）、子供の教育資金（26）、老後の生活資金（25）、病気や怪我の医療費（22）、解雇や失業による収入減少（16）などとなっている。



30 暮らし向きについて総合的にどのように見ているか

厚生労働省の国民生活基礎調査（2008年）を参考にすると、苦しいという世帯が全国平均より12ポイント近く多いというところに今回の調査世帯の特色がある。

実際年収で比較した場合、全国の平均年収より100万以上低く、数字的にも回答者の実感を裏付けているものと考えられる。

	実数	割合(%)
苦しい	22	31.0
やや苦しい	27	38.0
普通	17	23.9
ややゆとりがある	4	5.6
ゆとりがある	1	1.4
合計	71	100

31 収入状況

今回調査世帯の平均年収は、451.1千円となった。今回は、子供のいる家庭が多かったこと（37世帯）を考えると、やはり収入については、厳しい状況を示しているものと考えられる。

実数単位:千円

	実数	割合(%)
今回調査世帯	451.1	100.0
全世帯	556.2	38.0
高齢世帯	298.9	23.9
児童のいる世帯	691.1	5.6

今回調査の数字以外は、厚生労働省2008年国民生活基礎調査による。

32 世帯人数調整済み一人当たり世帯所得（年間所得／世帯人数の平方根）

世帯人数は多様であるため、世帯所得は世帯人数で著精する必要があり、その際一般的にとられる方法が、年間所得を世帯人数の平方根で除するやり方である。今回の調査世帯については、世帯あたりの平均所得は、250万2千円となり、下表のように、分布も正規分布に近い形になった。

	実数	割合(%)
100万未満	3	4.2
100万台	18	25.4
200万台	25	35.2
300万台	15	21.1
400万台	3	4.2
500万以上	1	1.4
無回答	6	8.5
合計	71	100.0

33 自由回答

1	職場が変わって給料が減り大変です。
2	とにかく、毎日節約を心に決めて頑張っています。なかなか思うようにはならないのが現実です。しかしうしろ向きにならず常に毎日を楽しみ、節約も楽しく、と思っこれからも頑張りたいです。 ※複数回答
3	今年の三月より主人が二交代から七時間勤務(昼のみ)になり収入が半減して大変である。七月に〇銀より仕送りの分としてまた 60 万円程度借りる。大学生のも就活でバイトが思うようにできず送金も増えて大変である。八月に義父が死にかといっ年金よりのお金はもらってないし)お金の面でも大変でどうしようと思っっています。今度より年収の三分の一しか借りられないとなると生活できるのか？学生のいるところはそれなりの補助があってもいいのに…。(年収を見ればこれでは無理)後で返済するのはいいから、貸してほしい四年間は！！死んだら保険で返すから。家計収支は書いたところで毎回赤！！書くのも恥ずかしい。年末で忙しいので収支表は勘弁してくれ。
4	これまでは前月昨年の同月の家計簿を参考に予算を立てていました。家庭内で無駄の判断・目安がつけにくかったので、信用生協さんに改善提案をしていただけるのが大変ありがたいと思っました。実際家計の現状が提示した金額と異なっていたこと、夫婦二人だけ(犬二匹)の家族でも親の介護見舞いにもなう不定額の支出だったりやりくりが難しいものでした。勝手ながら家計の診断は家計に詳しい方、または女性のほうが良いと思っました。信用生協さんがきっかけになりお蔭様で見通しのある日々をすごすことができました。ありがとうございました。
5	生協さんのおかげで気持ち的に生活できるようになりました。いざ生活するうえで、給料がその月によっていいときもあれば様々です。目に見えない面で、お金がかかり苦しいときがあります。生活するうえで金銭面に余裕があればいいのですが、毎日ぎりぎりの生活です。
6	返信が遅くなり申し訳ありませんでした。今後とも宜しくお願い致します。
7	父からの援助がある為とてもたすかっている。毎月の生協さんへの支払い金額が多い為、大変ですががんばりたいと思っます。
8	年はとっっていくのに、給料はふえないし、ボーナスは減るしでこの先不安…。
9	最近、『年収 200 万円からの貯金生活宣言』(横山光昭著)という本に出会い、様々な主婦向け雑誌に家計の改善策を捜し求めていた私はついに求めていた答え発見！！と感動しました。お金をいくら使ったかではなく、何に使ったか！それは消費なのか、浪費なのか、投資なのかという分類。お金は一生、付き合っていかなければならない相棒です。現在はちょっと苦しいですが、絶対乗り越える自信があります。それは困難に思えることにも目をそむけず、一つ一つ丁寧に原因を見つめ改善し、前進していくことを生活苦のおかげで学ぶことができたからです。出会うことすべてがありがたいです！
10	いろいろな税金が高すぎると思っますが、中でも車の維持費は高すぎると思っます。特にこだわりのターボ車のためガソリンが減るのが他人に比べて早いです。生活が苦しいわけではありませんが、ガソリンの減りが気になるところです。

11	以前は夫婦で給料からいくらと決めて出し合い、残りは自由にしていましたが、今は私が全て管理しています。そのほうがムダ使い(パチンコ)にならないので、初めから、こうしておけば信用生協さんにお世話になることもなかったのかなと思っています。まだ支払いは残っていますが、はやく、すっきりさっぱり借金のない生活になるよう、これからもがんばります！※同じ借金でも、今は家のローンもあります。でもこっちはムダではないのでいやな感じはしないです。不思議ですが。
12	借金を全額返済してから子供を出産できれば気持ちの面でもベストでした。なかなか貯金というものができないのが将来の不安へつながります。
13	こんなことを相談するのは筋違いだとは思いますが、誰にも相談できず悩んでおります。去年の三月にオール電化・エコキュートにしましたが、電気料が一向に減りません。どうしたものかと悩んでいます。だまされたみたいな気がしてなりません。見積書もなく、電気料金が安くなくエコキュートのほうも金額も教えず、空気と電気ですでかすのだとは言っていました。三月いっぱいキャンペーン中とのことで急いで契約させられたみたいです。クッキングヒーターも魚焼きに週二回位、あとはぜんぜん使いません。電気も節電、テレビも夜二、三時間でどうして料金がかかるのか不思議です。
14	世帯主と家族の財布が別なので記入できませんでした。サポートセンターでの相談者は、息子(長男)ですが、転職を二回しています。現在無職で、アルバイトをしているので、生協への返済分は確保できていますが、定職について、安定した生活を送ってほしいと願っております。相談者への指導をお願い致します。
15	毎月の決まった収入内で、いかにうまくやり繰りするか考えながら生活しています。今の不況で収入が大きく減り苦しい状況になりました。しかし、がんばって乗り越えていこうと思いつつ毎日生活しています。
16	別紙「家計収支表」は2009年11月の内容。上記問32は最近1ヶ月ということで2009年12月の内容となっております。夫は2009年9月-11月中旬失業の後、就職。夫の12月の収入は11月後半の半月分のもので、また今回の夫の就職は2010年1月末までの短期採用の為、その後の収入の目処はないのが現状。非正規雇用世帯の家計はこのように一貫性がなく、そこに未払い金等が重なると管理自体が複雑化する傾向があるかと思われます。
17	夫は年金を払っていないのでもらえないと思うが収入がなくなったら生活していけない。生協さんからローンを借りられ助かり生活も息つく所だったのに・・・病氣(ガン)になり、何が起るか全く予想ができませんね。節約マニュアル参考になりました。
18	利率が高いもっと安くしてほしい。
19	信用生協さんから車ローン代を借入れ、毎月21,965円支払っているが、今高校生と中学生への支出をきりつめている為、私服やクラブ費がキツイ！！毎月の支払を少なくし、回数を増やして(長く支払う)の方法への変更はできないのか・・・と考えています。又長女が高校に入学するので本当に公立高校の授業料無料になるのであれば幸い。ただ、入学資金をどうしたらよいかと頭を痛めています。
20	貯蓄をしたい。
21	いつもお世話様です。主人が残した借金(農業機械など)が多かったのが今までゆとりもなく三年間過ごしてきました。あと一年くらい頑張ればなんとか完納できます。

22	<p>まず生協さんにお世話になったおかげで借入れ先がない私共は娘の結婚式、車(中古)の購入などができ、自宅を離すことなく生活できる事に感謝いたします.担当の〇〇様(北上)には、特にお世話になり、ありがとうございました。これからは、気を今まで以上に引きしめ、前向きに生活し、借入返済後の生活を夢見ながら、頑張っていくと家族とも話しております。</p>
23	<p>H.21年一月に父が亡くなり、葬儀費用、各法事等出費が多い一年でした。結果的には借入することなく終了できました。ただ、ローン、信用生協の返済が遅れたときもありましたが今年の方は返済できました。来年は主人が退職しましたので収入面で変化がありますので家族で話し合って家計を守りたいと思います。</p>